



新潟港

直江津港



新潟港 直江津港のご紹介

**新潟県交通政策局
港湾振興課**

～日本海側の拠点港湾としての新潟港・直江津港の優位性～

新潟港は、明治元年11月19日(1869年1月1日)に開港5港(函館、新潟、横浜、神戸、長崎)の一つとして、外国に向けて開かれた国際貿易港です。

昭和42年(1967年)に、日本海側初の「**特定重要港湾**」に指定され、平成7年(1995年)には日本海側唯一の「**中核国際港湾**」として位置づけられるとともに、平成23年(2011年)には「**国際拠点港湾**」に指定され、北東アジア地域の拠点港湾として発展しています。

新潟港における外貿コンテナ航路は1980年のトランスシベリアコンテナ航路の就航から約40年の歴史を有し、本州日本海側で最多の取扱量を誇ります。

近年では県内及び隣接県の荷主様に加え、首都圏の荷主様からもBCP利用の観点から、京浜港のセカンドポートとして活用いただいております。



新潟港・直江津港の優位性

- 釜山・上海をハブとした航路網
(輸入に有利な航路設定)
- 充実した荷主様向け補助制度
- 首都圏と直結する日本海側最大の港湾(新潟)
- 充実した高速道路網による容易なアクセス
(関越、北陸、上信越、磐越、日本海東北)
- 鉄路による全国各地への貨物輸送
(羽越・信越・北陸本線等)

～新潟港・直江津港の航路網～

コンテナ航路

新潟港

●外資コンテナ 週9便

●内資フィーダーコンテナ 週2便

直江津港

●外資コンテナ 週2便

●内資フィーダーコンテナ 週1便

●内航フェリー航路

航路名	頻度	航路概要
佐渡(両津)航路	日3～5往復	新潟 ↔ 両津
新潟・小樽航路	週3～6往復	新潟 ↔ 小樽
敦賀・新潟・秋田・ 苫小牧航路	週1往復	敦賀 ↔ 新潟 ↔ 秋田 ↔ 苫小牧
新潟・秋田・ 苫小牧航路	週3～6往復	新潟 ↔ 秋田 ↔ 苫小牧





新潟港コンテナ航路

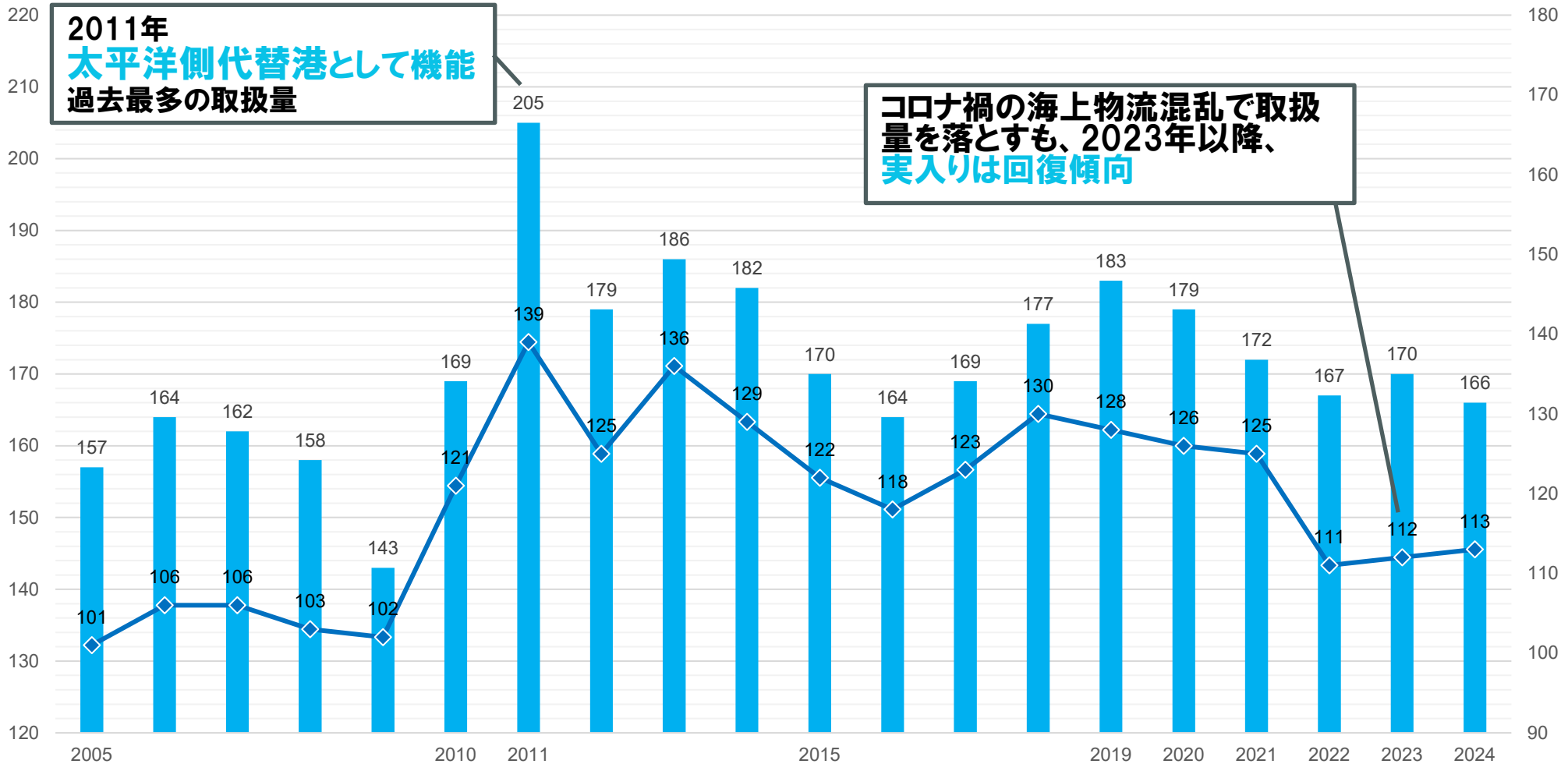
～新潟港のコンテナ取扱量推移～

2024年のコンテナ取扱量は総数で約16万6千TEU
本州日本海側で最多の取扱量

単位:千TEU

左軸:空コン込み

右軸:実入りのみ



※2025年3月 新潟県公表資料により作成（2024速報値）

～新潟港の外貿定期コンテナ航路～

上海港や釜山港等を中心に週9便の定期コンテナ航路が就航



釜山航路	週3便
中国・釜山航路	週4便
中国航路	週2便

外貿航路 計 **週9便**

主要港との日数

	輸出	輸入
釜山	2日～	2日～
上海	6日～	4日～

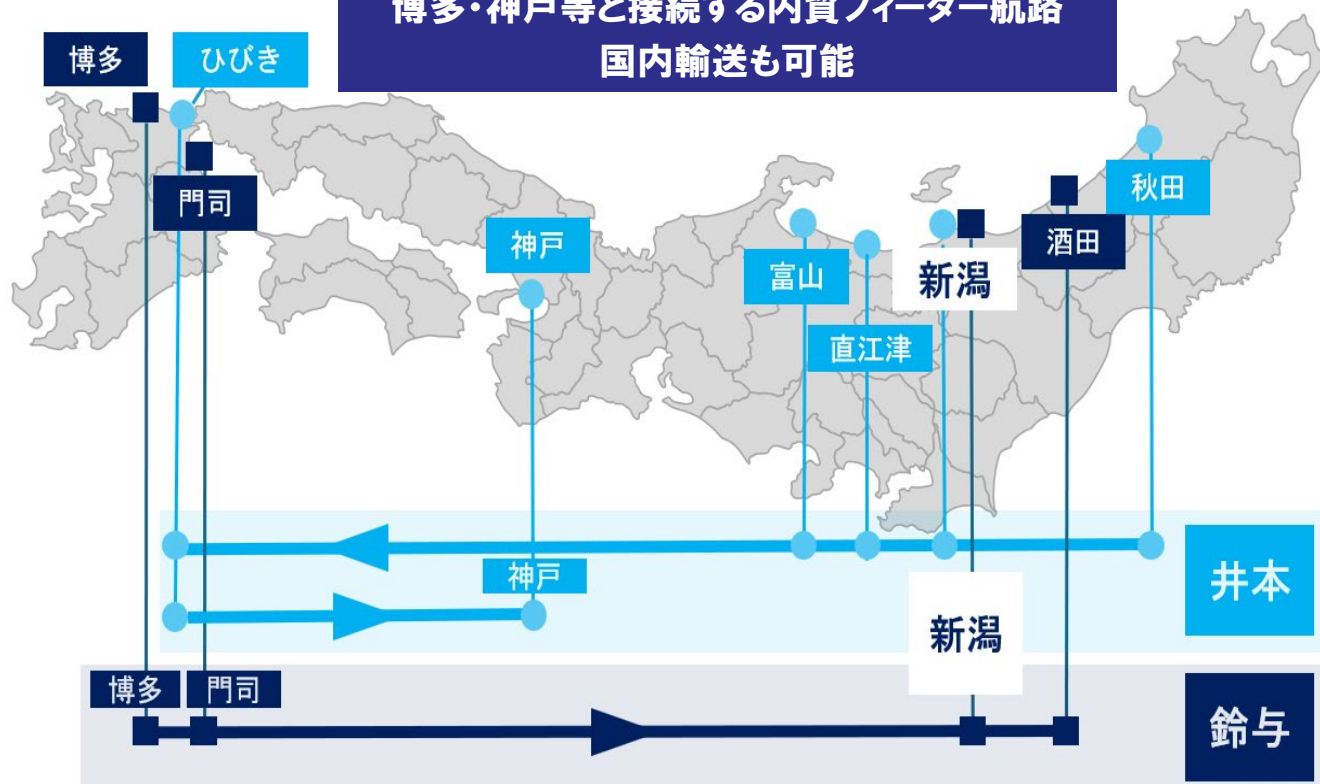
～新潟港の外貿定期コンテナ航路の詳細～

#	船 社 名	曜 日							リードタイム		代理店
		日	月	火	水	木	金	土	輸 出	輸 入	
釜 山 航 路 (週 3 便)											
1	Xプレスフィーダース (ヘスコ・エージェンシース)	新潟	秋田	富山		釜山新港	釜山新港		釜山新港4日	釜山新港2日	リンコー
2	シノコー (シノコー成本)	釜山新港		直江津	秋田	新潟		釜山	釜山2日 釜山新港3日	釜山新港4日 釜山5日	東洋
3	シノコー (シノコー成本)	釜山	釜山新港		新潟	富山	金沢	浜田	釜山新港4日 釜山5日	釜山新港2日 釜山3日	東洋
		釜山新港	釜山	玉溪	釜山	玉溪	光陽				
中国・釜山航路(週4便)											
4	天敬海運 (CKマリタイム)	大連			浦項 釜山	釜山		新潟	釜山4日	釜山2日	日通
	高麗海運 (高麗海運ジャパン)	富山	直江津		蔚山・釜山 釜山新港			天津新港	釜山4日 天津新港7日 大連8日	釜山2日 大連6日 天津新港7日	日通
5	天敬海運 (CKマリタイム)	釜山		新潟	富山	金沢		蔚山 釜山	釜山4日 蔚山4日	釜山2日 上海5日	日通
	汎州海運 (アジアカーゴサービス)	光陽		寧波	寧波 上海	上海		釜山	寧波7日 上海8日	寧波6日 蔚山10日	リンコー港運
6	高麗海運 (高麗海運ジャパン)	清水	小名浜	仙台	釜石		新潟	境港	釜山4日 蔚山5日		日通
	南星海運 (南星海運ジャパン)			釜山	蔚山 光陽			天津新港	光陽5日 天津新港8日	釜山9日 青島11日	リンコー港運
			青島		釜山				青島10日	天津新港13日	
7	高麗海運 (高麗海運ジャパン)	大連		釜山		新潟		秋田	釜山新港10日 釜山10日		日通
	南星海運 (南星海運ジャパン)	苫小牧	八戸		仙台	常陸那珂			蔚山12日 光陽13日	釜山2日 大連4日	リンコー港運
		釜山新港 釜山		蔚山	光陽		青島		青島15日 大連17日	青島6日	
中国航路(週2便)											
8,9	神原汽船		富山	新潟		小樽			(火曜船) 上海6日 大連14日 青島15日	(火曜船) 上海4日 青島6日 大連7日	リンコー
			上海			金沢	新潟		(金曜船) 大連4日 青島5日 上海7日	(金曜船) 上海4日 青島16日 大連17日	
				大連	青島		上海				

※記載の運行情報はオリジナルスケジュールです。実際の運行スケジュールは変更されることがありますので、各船社(港運代理店)が最寄りの国際物流業者にご確認ください。
 ※各船社の航路サービス(運航情報・トランシップサービス)等の詳細は各社のホームページ又は港運代理店、通関業者等の国際物流事業者等にご確認ください。

～新潟港の外貿航路に直結する内貿フィーダー航路～

博多・神戸等と接続する内貿フィーダー航路
国内輸送も可能



船社名	曜 日						リードタイム		備 考	新潟港 代理店	直江津 代理店
	日	月	火	水	木	金	土	移出	移入		
井本商運	ひびき		秋田	新潟	直江津 富山		ひびき	神戸 5日	神戸 5日	神戸で Orient Overseas Container Line Limited (OOCL) の外航サービスに接 続	日通
	ひびき	神戸				神戸	ひびき				直江津 海陸
鈴与海運			門司	博多		酒田	新潟	門司 3日 博多 4日	博多 3日 門司 4日	博多・門司で ①COSCO SHIPPING Lines, ②Interasia Lineの外航サービスに接 続	リンコー

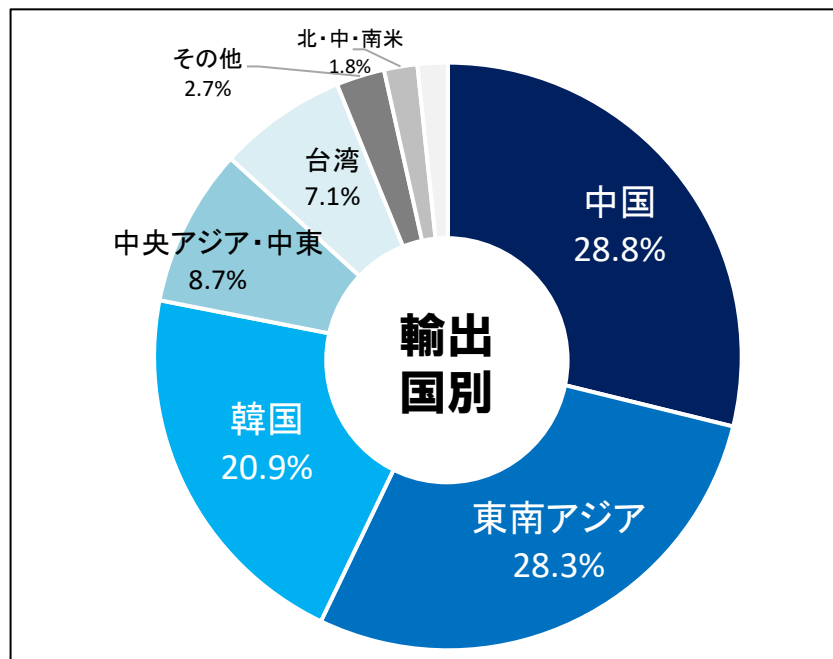
※記載の運行情報はオリジナルスケジュールです。実際の運行スケジュールは変更されることがありますので、船社(港運代理店)か最寄りの国際物流業者にご確認ください。

～新潟港の貨物動向①(国・地域別)～

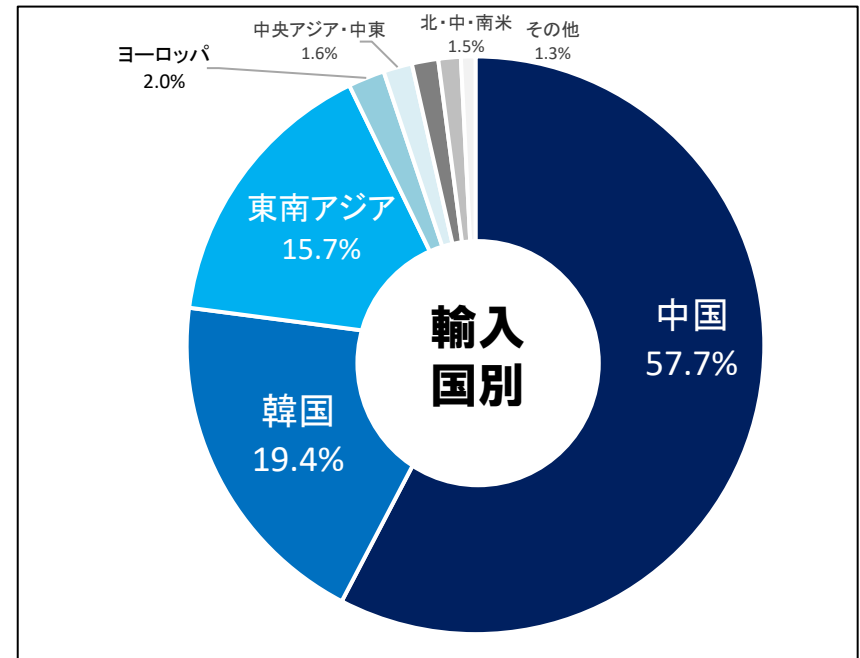
新潟港利用貨物の仕出地・仕向地の傾向

- ・ 輸出、輸入共に依然として、韓国・釜山港や中国・上海港が大きなシェアを有するも、近年は中国華南地方や東南アジア各国との輸出入で高いニーズを維持
- ・ 輸出はベトナム、中国華南地方(塩田港等)向けの輸出シェアが増加傾向
- ・ 輸入は近年中国全体のシェアは減少も、上海港・中国華南地方(蛇口港等)からの輸入が増加傾向

国・地域別コンテナ貨物
輸出割合(2024)



国・地域別コンテナ貨物
輸入割合(2024)

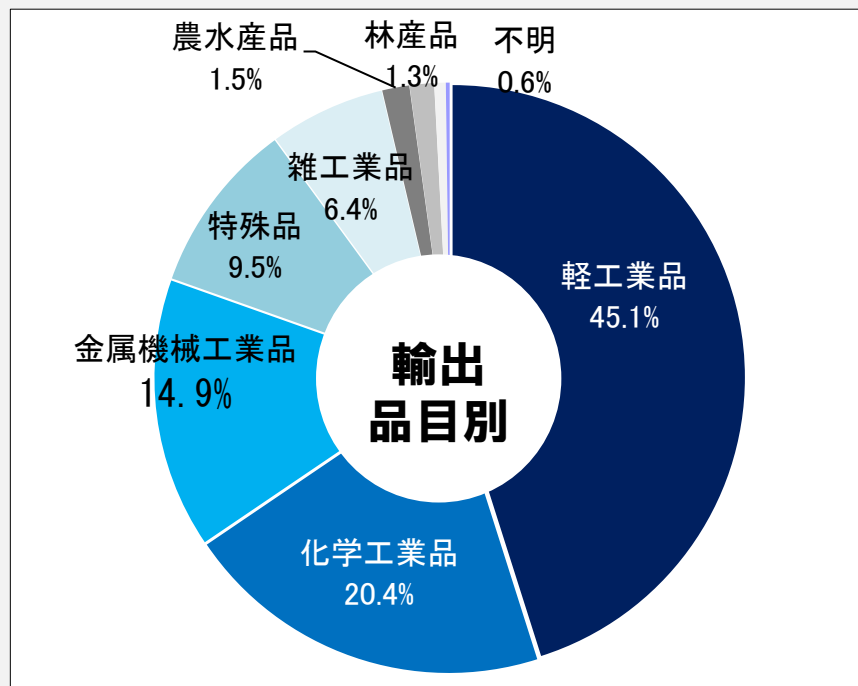


～新潟港の貨物動向②(品目別)～

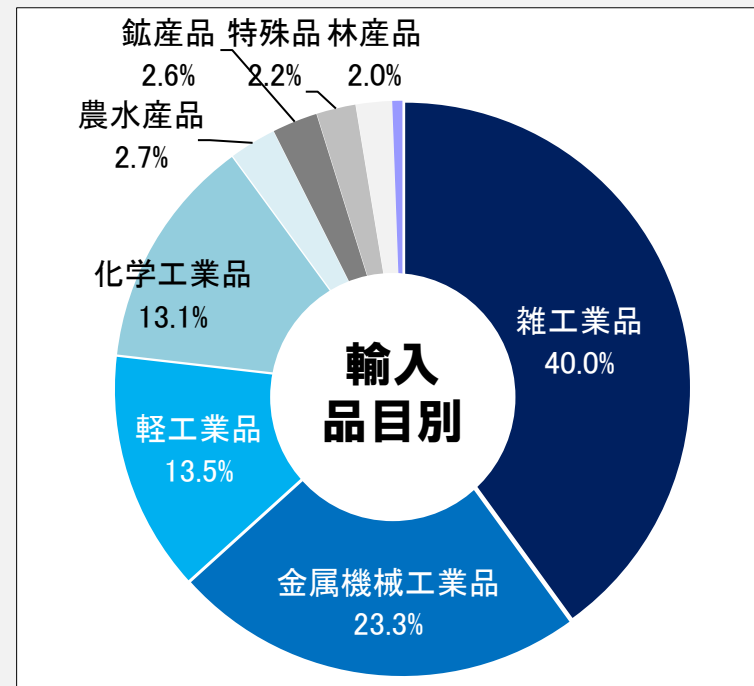
新潟港利用貨物の品目別動向

- 輸出については、「**軽工業品**」「**化学工業品**」で約66％を占める
「**軽工業品**」は紙・パルプ、「**化学工業品**」は合成樹脂の輸出が多い
- 輸入については、「**雑工業品**」「**金属機械工業品**」などの日用品関連貨物が約63％を占める
「**雑工業品**」は家具・装備品、「**金属機械工業品**」は金属製品や電気機械の輸入が中心

品目別コンテナ貨物割合
(輸出:2024)



品目別コンテナ貨物割合
(輸入:2024)



～新潟港利用のメリット～

中国・韓国との 利便性の高い定期航路

リードタイム

主要港と比較しても見劣りしない
中国・韓国からの**リードタイム**

最短輸入リードタイム比較

港湾名	釜山	上海
秋田	3日	
伏木富山	2日	3日
東京	2日	2日
新潟	2日	4日

ファーストポート

新潟港は週9便中5便が**ファーストポート便**

スケジュールが乱れにくいファーストポート便が多く、輸入荷主様に高い利便性

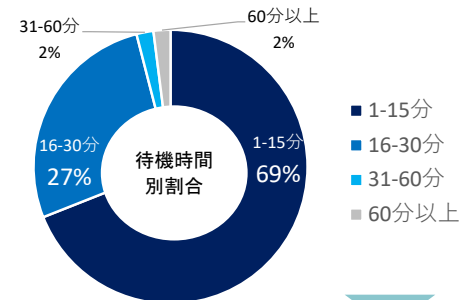
貨物の搬出入がスムーズな コンテナターミナル

車両待機時間

平均待機時間は**15分**。**96%**の車両が
到着から**30分以内**に搬出入を完了

新潟東港CT待機状況調査結果

区分	コンテナ種別	本数	平均待機時間	最短待機時間	最長待機時間
搬入	実入り	97本	14分	5分	78
	空コン	128本	18分	6分	104
搬出	実入り	176本	15分	6分	76
	空コン	34本	14分	7分	25
合計		435本	15分	6分	-



**69%が15分以内
96%が30分以内
に搬出入完了**

深刻な渋滞が常態化している東京港と比較してスムーズな貨物の搬出入が可能

～太平洋側港湾のバックアップ港としての優位性～

南海トラフ地震・首都直下地震の発生時に備え、
平時から、新潟港の活用をご検討ください



1 交通アクセス等、機能面の充実

- 高速道路、幹線国道等の結節点
- 東北・関東・北陸・中部方面への鉄道の結節点
- 新潟港の迅速な通関・ゲート体制
[ゲートオープン 8:30～16:30(月～土(ただし祭日を除く))]
※ゲートオープン時間の延長を実施[要事前連絡]

2 本州日本海側最多のコンテナ取扱量

- 「首都直下型地震」等が発生した場合、新潟港が京浜利用のコンテナ貨物輸送のバックアップ機能を発揮可能

3 東日本大震災発生時における実績

- 東日本大震災発生時には、東北太平洋側港湾の代替港として機能
- 県内港コンテナ取扱量
(平成22年) 192,147TEU ⇒ (平成23年) 231,257TEU
※特に、H23.5の新潟港の取扱量は初めて2万TEUを越える。

4 全国トップクラスの支援制度(インセンティブ)

- 新潟県や新潟市・新潟国際貿易ターミナルでは荷主様向けへの支援制度を用意
- 県外発着貨物について、初めてご利用いただく場合に手厚く支援

太平洋側港湾の代替機能を担う
十分なポテンシャル

直江津港コンテナ航路



～直江津港の外貿定期コンテナ航路～

釜山トランシップで世界各港と接続

航路	船社（総代理店）	便 数	運航日数・寄港地																		
釜山航路	長錦商船 （シノコー成本） 代理店：海陸 1ループ1週間を要する 航路を1隻で運航	週 1 便 （火）	輸出	5		0	1	2	3	4											
			輸入	2	1	0															
			曜日	日	月	火	水	木	金	土											
			港名	釜山／釜山新港	—	直江津	秋田	新潟	—	—											
中国・釜山航路	天敬海運 （CKマリタイム） 高麗海運 （高麗海運ジャパン） 代理店：日通 1ループ2週間を要する 航路を2隻で交互運航	週 1 便 （月）	輸出		0	1	2	3	4	5	6	7									
			輸入	1	0		12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2				
			曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
			港名	富山	直江津	—	蔚山／釜山／釜山新港	釜山新港	—	天津新港	天津新港／大連	大連	—	浦項／釜山	釜山	—	新潟				

輸出

釜山まで
天津まで

輸入

釜山から
浦項から
天津から

輸出

釜山まで
天津まで

2日～4日
6日

輸入

釜山から
浦項から
天津から

3日～4日
5日
8日

～直江津港の外航航路に直結する内航フィーダー航路～

神戸トランシップで世界各港と接続

航路	船社	便 数	運航日数・寄港地											
			輸出							0	1	2	3	4
			輸入	6	5	4	3	2	1	0				
			曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
国際 フィー ダー 航路	井本商運 代理店：海陸	週 1 便 (木)	港名	神戸	ひびき (北九州)	ひびき (北九州)	—	秋田	新潟	直江津／富山	—	ひびき (北九州)	ひびき (北九州)	神戸

※神戸からはOrient Overseas Container Line Limited(OOCL)の外航サービスとなります。
 ※直江津－ひびき(北九州)間における内貿貨物の取扱も可能です。

輸移出

ひびきまで 2日
 神戸まで 4日

輸移入

ひびきから 4日
 神戸から 6日

～県助成金の概要～

（荷主様向け）

■県内港物流トライアル推進事業

- ・新たな物流ルート of 構築やモーダルシフトにより
県内港を利用して輸出入・移出入を行う荷主様に対し、
トライアル費用を支援する補助制度

（荷主様向け）

■コンテナ貨物利用拡大支援事業

- ・過去3か年度の最高実績と比べて輸出入コンテナを
増加させた荷主様に対する補助制度

（物流業者様向け）

■陸運・海運業者等協同荷主開拓支援事業

- ・新規荷主様を開拓していただいた物流業者様に
対する補助制度



令和7年度 県内港・臨江津港
県内港物流トライアル
推進事業のご案内
対象期間 令和7年4月1日～令和8年2月28日

補助制度のポイント

- 1 対象貨物・船種
トライアル費用を半額補助
- 2 補助額
通常100万円/最大200万円
- 3 補助対象
コンテナ1本から活用可能

補助対象の概要は裏面に記載してあります。



令和7年度 県内港・臨江津港
コンテナ貨物利用
拡大支援事業のご案内
対象期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
B/L Data（船荷証券ベース）

補助制度のポイント

- 1 補助額
最大4万円/TEUを交付
- 2 補助期間
最大3年間の継続補助
- 3 補助対象
中堅・中小企業等の増加に
増加量に応じた加算

補助対象の概要は裏面に記載してあります。



令和7年度 県内港・臨江津港
陸運・海運業者等協同荷主
開拓支援事業のご案内

補助制度のポイント

- 1 新規荷主様を開拓していただくことにより
物流業者様に補助金を交付
- 2 輸送量上の増減に
最大700万円を交付
- 3 新規荷主様の開拓でなければならず、実効を要する
50TEU以上の利用から補助

補助対象の概要は裏面に記載してあります。

**本資料記載内容につきまして、
ご質問等がございましたら、お気軽にお問合せください。**

<お問い合わせ先>

新潟県 交通政策局 港湾振興課

TEL:025-280-5455（直通）

E-mail : ngt170010@pref.niigata.lg.jp